

取り組みます。

【KAGUの家〜Cowork Culture Village (共の村・共生 共和 共栄)の村)】
東川高校の振興、「魅力があり、選択される学校の姿」に向けた具体的な施策の展開検討、中心市街地価値創造事業】

イ、「写真の町」文化事業の推進
先人が築いてくれた写真文化、大雪山文化（農業・観光業を含む）、家具デザイン文化の3つの文化を中心として、地域活力の向上、推進に取り組みます。
特に第3の開拓と言われる水田大型化と合わせてJAひがしかわが付加価値確保のため整備を計画しているCE（カントリーエレベーター）などの施設整備については、生産利用者の実質負担軽減化のため、辺地債を活用した交付金などにより事業者の負担額以内とし、実質6億円以内（JAから取得予定の土地代金を含む）の支援を目安とします。ただし、施設整備に対するふるさと納税額が高額となった場合にはCE施設支援を含めた、高次農業展開に支援します。
【大雪山文化】緊急農地再編事業

【三】収集搬出支援の試行、市街地・国立公園（旭岳、天人峡温泉地区）景観向上支援、SDGsとゼロカーボン化等の環境保全対策】

〈八〉対策の充実

東川町にある豊かな「自然・人・文化」資源を生かし、国内外からの交流や関係人口の維持・拡大に取り組みます。
ア、北工学園学生確保

専門学校である北工学園は東川町の大きな価値の一つですが、少子化や旭川大学の市立化もあり、地方学校の学生確保は一段と厳しく、学校応援活動が重要な地域課題となっています。現在、学生の募集は道内主体となっていることから、地方学校支援の視点で首都圏からの地域おこし協力隊の確保にチャレンジし、東川町や専門学校の魅力発信に努め、次年度以降、学生確保を目指すとともに、隊員の地方定住のため資格の取得支援に取り組みます。（本格的には令和5年度に向けての取り組みとなります。）
【地域おこし協力隊の公募と資

業の推進、高付加価値農業（CE等と発酵食品開発）、魅力的な観光業、体験観光
▼家具デザイン文化、「隈研吾&東川町」KAGUデザインコンペ、椅子のイベント、デザインミュージアム計画
▼写真文化「国際写真フェスティバル」（「写真の町」東川賞、写真甲子園、高校生国際交流写真フェスティバル）、映像文化を通じた関係人口の拡大
ウ、「おいしい水 うまい空気 豊かな大地」事業の推進
先人が守ってこられた町の自慢である自然環境を生かし、第1次から第3次産業の調和のある発展と暮らしの安全、教育環境の充実と持続発展に取り組みます。
【SDGsとゼロカーボン】国立公園内に放置されている廃屋の早期除去と防犯・景観・環境保全対策、ゴミ減量化への地域コミュニティ単位での取り組み、薪ストーブの設置支援、ペーパーレス化など
▼企業との連携による太陽光発電・太陽光パネルによる再生エネルギー（キトウシ地区）
▼ゴミ搬出の見直し

し〜快適な生活環境と子育て支援のためのゴミ搬出の見直し試行】

3. 不易流行

地方自治の基本である「住民福祉向上」を踏まえ、時代の流れに「一歩遅れず 一歩踏み出す 一歩先を行く」行政を目標に推進します。
ア、子育てと教育格差の解消
教育委員会と連携し、時代の変化に対応した子育てと教育の支援により、養育や教育に格差が生じないよう取り組みます。
【子育て休業日への支援、IT活用学習等による格差の解消、奨学金の充実と持続できる奨学金財源の確保（10年後以降の取り組み）】
イ、DX化への試行対応の推進
時代の変化に順応できる行政と住民サービスの提供に取り組みます。
【デジタル通信、ドローン実証試験、IT教育の推進】
ウ、国際化への対応
時代の流れに先行できるように、3つの「共」宣言、「共生 共和 共栄」のコミュニティづくり

くりに取り組みます。
【日本語学校と北工学園の振興（八）対策にも記載）、国際教育の推進、輸出環境への対応】
第3 人口増加による財源確保
本町は1995（平成7）年以降の国勢調査において一度も前回を下回ることなく、人口微増を続け、町の一般財源の確保にも大きく貢献しています。住民一人ひとりが暮らしている町に誇りを感じ、町の魅力を発信してくれている成果が大きいと考えています。適疎な環境を生かしながら、これまでも高齢者の生活支援（タクシーチケット、住宅改修、医療費支援など）、子育て環境の充実（保育料軽減、福祉給付、予防接種など）、教育・文化スポーツ振興（国際教育、地場家具の活用、少年スポーツ振興など）などのダム対策（定住者の確保）と3つの文化発信（大雪山、家具デザイン、写真）及び日本語学習機会等の充実により八）対策（移住者や滞在者の確保）に取り組んできました。ダムと八）対策の充実により人口の確保を図り、財源確保に取り組みます。

格取得、首都圏域など道外からの学生確保、市立大学並の授業レベル確保と移住支援対策の検討、介護福祉士資格取得と就業を目指す海外留学生の確保、日本語学科で学ぶ学生確保
イ、サテライト、テレワークなどの働く環境及び生活環境の充実
国の制度を活用したサテライトやテレワーク施設を活用する町内外からの企業や移住者を支援し、八）人口の確保に取り組みます。
【企業オフィス設置支援、企業社員移住支援、起業化支援】
ウ、各種産業文化の魅力発信による「人々の交流」と「モノの交易」の拡大
町内の関係機関団体や国内外の企業等（パートナー企業を含む）と共に様々なイベントなどを通じて、広く東川町の産業や文化等の魅力発信に努め、今まで培ってきた首都圏などの大学や学生など多くの「人々の交流」と「モノの交易」拡大に取り組みます。
【協定企業へのワーケーションの場の提供とふるさと納税案内、慶應義塾大学・東京農業大学・

長野県立大学・立正大学・武蔵野大学・大阪経済大学・札幌大学などとの連携、「人生の学校」との連携・支援
第4 東川振興公社との連携
東川振興公社は町の経済関係団体等で構成している株式会社であります。また、本来の「稼ぐ」公社としての役割と地方再生法に基づき地域再生推進法人でもあります。法人機能を十分發揮し、地方創生事業の実施など地域活力の向上に大きな役割を果たせるように十分連携（適疎推進課など）し、住民福祉向上に努めます。
ア、公有財産の適正管理と運営
イ、東川株主（ふるさと納税）における魅力ある株主優待の開発
ウ、地方創生事業の実施
第5 健全な財政運営
基幹的な財源収入であります町税、地方交付税（特別交付税を含む）の確保に努めるとともに、公共施設等の整備に当たっては有利な起債活用に引き続き取り組むと共に公共施設運営計画を定め、効果的かつ安定した運営を目指します。

〈夕ム対策の充実〉

今までの人口確保対策から生じた財源を活用し、住民要望の強い3K（子どもに良い、健康に良い、環境に良い）に取り組みます。ア、子どもに良い
全国的に子育て中の保護者が孤立している現状を踏まえ、子育て中の保護者が孤立しないように「仲間」づくりを奨励し、仲間が同じ空間（場所）で、同じ時間を共有できる3つの間の共有化に取り組みます。
【育児休業日への支援（試行）、育児外食支援、児童の自主的・創造的・協動的な活動支援】
イ、健康に良い
子どもからシニアに至るまで民間人の知恵や技術を生かし、心身ともに健やかな毎日の暮らしができるように取り組みます。
【「全世代共生型 交流×活躍×健康」プラザ（共生プラザ）の新設、Rbodyとの連携継続、シニアと親子外出支援】
ウ、環境に良い
「おいしい水 うまい空気 豊かな大地」の環境の中で、生きいきと暮らすことができる快適な環境づくりに取り組みます。

特に、天人峡温泉地区の荒廃している状態は、観光立国を宣言している日本にとって大きなマイナスイメージになっています。国立公園の廃屋を国の責任において除去する要請を強く行うとともに、自主的な財源も確保しながら、上流の水源地の環境保全に配慮し、早急に除去できるように取り組みます。
ア、環境保全のための財源確保
〜ビクターセンター及び大雪山岳源水駐車場の協力金の案内強化
イ、地域資源を活用した「稼ぐ」循環型行政の推進およびふるさと納税（目標額10億円以上）の拡充
ウ、町の資源を活用した使用料等の確保
新たな積立目標
【共生プラザ：3億円（令和5年度まで）
▼キトウシ保養施設：3億9千万円（令和6年度まで、賃貸した場合には当該財源を含む）
▼CE（JAひがしかわ）：6億円（令和6年度まで、JAから取得予定の土地代金を含む）
第6 おわり
行政推進の柱とする「適疎推進」「飲水思源」「不易流行」を確認しながら、未来へ向かって勇氣ある決断、実行によって住民福祉の増進に結束して取り組んでいきますので、議会及び住民の皆様のご理解とご支援を重ねてお願い申し上げます。
令和4年3月
東川町長 松岡 市郎